(通巻3902号/毎週日曜日発行/2026.9.27)　キリスト品川教会　品川区北品川4-7-40　TEL03(3443)1721

泉のほとり

●三位一体後第十七主日

今月の詩編「第百二十編」

主よ、わたしの魂を助け出してください。
偽って語る唇から
欺いて語る舌から



聖霊に導かれる群れ

エルサレムに最初の教会が生まれて間もないころ、ステファノという弟子が選ばれました。聖書は彼を「信仰と聖霊に満ちている人」と紹介しています。彼は人々の間に入り、恵みと力に満たされて、イエス・キリストの福音を宣べ伝えました。

ところが、その働きに反対する人々が現れます。彼らは外国生活が長く、ギリシャ語を話す人たちです。故国を離れていたからこそ、律法を守る思いも、神殿を重んじる思いも深かったのです。

彼らが特に重んじた習慣は、安息日と割礼だったと言われています。特に安息日は徹底して守り、その日は殺されても仕事をしませんでした。普段は外国で奴隷のような生活を強いられても、安息日には王さまのようにすべての仕事から会場されて、神さまを礼拝しました。それによって彼らは、何百年にも渡る離散の生活を、神の民というアイデンティティーを失わずに生き抜いたのです。しかしその大事なもの、よいものがステファノを殺したのです。

ステファノは彼らに言います。「かたくなで、心と耳に割礼を受けていない人たち、あなたがたは、いつも聖霊に逆らっています」。問題は心と耳がかたくなになって、聖霊のお働きを受け入れないことです。

これは、わたしたちにとっても他人事ではありません。礼拝を守り抜くことは必要です。しかし、それが頑なさに変わるなら、わたしたちも聖霊のお働きを妨げてしまいます。信仰とは、自分たちの習慣を守り抜くだけではなく、今ここで働かれる神に心と耳を開き、その導きに従うことです。

神さまの独り子である方、神と等しい方が人間となってわたしたちのところに来られたことは、決定的な出来事です。そういうことが起こったのですから、それに合わせて、生き方を変えなければなりません。しかしユダヤ人たちはそれができずに、主イエスを十字架で殺してしまいました。

ここではその主イエスとステファノの姿が重なります。ユダヤ人たちは主を告発したのと同じ言葉でステファノを告発しました。また彼は、石で撃たれながら、自分を殺す者たちのために祈りました。彼の内には、主が生きておられたのです。そのステファノを、神さまの右におられた主は立ち上がって迎え入れようとされました。

ステファノは殺され、教会には激しい迫害が起こります。信徒たちはエルサレムからイスラエルの各地へ、また国を超えて散らされます。そのようにして、教会が踏み出せなかった一歩を、迫害が踏み出させました。これは聖霊の御業です。

さらに、その場でステファノの死を当然と思っていたサウロは、数ヶ月後には、使徒パウロとなり、世界にキリストを宣べ伝える大伝道者となります。

人間の目には、ステファノの死も教会への迫害も、不幸な出来事にしか見えません。しかし聖霊は、そのような出来事を用いて救いの御業を前進させられました。使徒言行録は、聖霊言行録だと言った人がいます。その通りです。いつも聖霊が教会の先に立って、使徒たちを導かれました。そしてわたしたちの教会も、その聖霊の導きの中に置かれているのです。

（使徒言行録六章八～一五節、七章五一～八章一節）

吉村 和雄 名誉牧師）

《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、
愛と交わりを通して
お互いに成長する教会

《２０２６年度
教会全体課題》

神さまによって
示された新しい歩みの中で、
キリストの体としての一致を
祈り求める
ーコミュニケーション、交わり、
伝道、学びなどを通してー

《今日のお知らせ》

○礼拝後、地下ホールで交わりの会があります。讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

○次回の洗礼式と転入会式は一二月二〇日のクリスマス礼拝の際に行う予定です。受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、一〇月一一日(日)までに牧師宛ご提出ください。願書は教会事務所にあります。

○本日、吉村和雄名誉牧師は日本基督教団 花小金井教会の礼拝と午後の修養会で奉仕のため、不在です。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《祈りの会より》

祈りの会をホール集会後第二・三シオンルームで開催します。一二時四五分開始予定です。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

《熊本地震の募金について》

熊本地震救済募金の募金額は１４８、４６７円(振替手数料込)でした。日本同盟基督教団 広域災害対策本部を通じて日本同盟基督教団へ寄付いたしました。感謝をもってご報告いたします。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。
(司・会)の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百二十篇】都に上る歌。

苦難の中から主を呼ぶと
主はわたしに答えてくださった。
「主よ、わたしの魂を助け出してください
偽って語る唇から、欺いて語る舌から。」
主はお前に何を与え
お前に何を加えられるであろうか
欺いて語る舌よ 勇士の放つ鋭い矢よ
(司・会)
えにしだの炭火を付けた矢よ。

わたしは不幸なことだ
メシェクに宿り、
ケダルの天幕の傍らに住むとは
平和を憎む者と共に
わたしの魂が久しくそこに住むとは。
(司・会)
平和をこそ、わたしは語るのに
彼らはただ、戦いを語る。

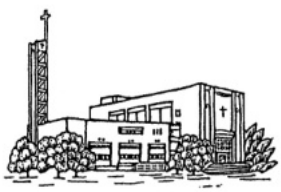
《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)
説　教「神と言葉が通じるように」
聖　書　創世記11章1～9節
説教者　宮間 彰広 兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)
説　教「神さまの救いの始まり」
聖　書　創世記12章1～9節
説教者　吉村 和雄 名誉牧師

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)
讃美歌　79番　　357番
説　教「救いを達成するように」
聖　書　フィリピ2章12～18節
説教者　黄 允湜 牧師





主日礼拝 (午前１０時３０分)

讃美歌　　２２番　　３３９番
説　教　　「キリストの思いをあなたのうちに」
聖　書　　フィリピ２章１～１１節(新約 P.362)
司　式　　石川 一 兄
聖餐司式　黄 允湜 牧師
説教者　　黄 允湜 牧師

前奏曲「我ら唯一の神を信ず」J.S.ﾊﾞｯﾊ

○讃美歌２２番

1.めさめよ わがたま あさ日にともない
あしたのほめうた みまえにささげよ

2.むなしくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ

3.うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ

4.かくるるものをも 主は知りたまえば
ことばとおもいを ひたすらきよめよ

5.めさめよ わがたま この日もひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○讃美歌３３９番

1.君なるイエスよ けがれし我を
洗いきよめて めぐみを賜え
わが日わが時 わがもの皆は
今よりとわに 君のものなり

2.わが手は君の み業をならい
われの歩みは み跡をふみて
いそしみ進み 主の御力に
常にたよりて 強からしめよ

3.われの舌をば すくいの主の
恵みをうたう 器となして
わが口唇に よき音ずれを
溢るるばかり 満しめたまえ

4.黄金 しろがね 知恵も力も
献げまつれば みな取り用い
我のこころを 宝座となして
み旨のままに 治めたまえや

アーメン

聖餐曲「プレリュードト長調」J.S.ﾊﾞｯﾊ

後奏曲「父なる神よ、我らと共に住みたまえ」J.ﾊﾟｯﾍﾙﾍﾞﾙ